

## 1 施設の設置目的を踏まえた管理運営計画

条例にあるように地区センターは、地域住民が自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、サークル活動を通して交流を深め豊かな暮らしを醸成するための地域の拠点です。

瀬谷区の重点施策に基づき、地区センターの役割を次のように考えます。

- 1 学校や地域子育て支援拠点等の他施設との連携による子ども・青少年の育成
- 2 ライフステージにあわせた自主的活動（食育、介護予防等）の推進による健康・福祉の充実
- 3 地域コミュニティの醸成による安全・安心のまちづくり
- 4 地元農家等との連携やイベントの実施による、地域の魅力発信

区民の暮らしに一番近い公共施設として中屋敷地区センターを捉え、目指す姿のキャッチフレーズを「ふれあいのコミュニティ中屋敷地区センター」として取り組んでまいります。

## 2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

瀬谷区は横浜市内でも高齢化が進んでいます。今後、シニア層のいきいきとした暮らしを実現していく為にも、地域活動参加の機会創出が必要であると考えます。またシニア層のみならず、子育て中のお母さんや、学童、生徒、社会人など、あらゆる世代に利用していただけるよう、ニーズを反映した施設運営を行ないます。

- 1 生涯健康づくり活動（運動習慣、食育、介護予防等）
- 2 どの年齢世代の方でも参加いただける世代間交流事業の推進
- 3 各連合自治会町内会や地元農家、学校等と連携した地域交流事業の推進
- 4 地域活動へのきっかけづくりとしてボランティア養成、サークル体験会等の諸施策実施

## 3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

公の施設として、関係条例・法律・仕様書等コンプライアンスを遵守した公平平等な管理運営を実施します。館長を責任者として本部の統括責任者と連携した管理体制で個人情報保護、法令遵守を管理します。また防災への取組については、地域住民、利用者や職員の安全確保、地域への貢献等の役割を認識し、職員は震災対策に関する知識や技術の修得及び市や県に積極的に協力する等責任を持って防災に取り組めます。

## 4 利用者ニーズの把握、サービス向上計画、利用促進計画

利用者ニーズは、年代や立場、利用目的で様々です。普段から職員全員、利用者の声を伺い、迅速に対応・改善し、施設運営に反映します。

- 1 地区センター委員会や利用者会議で地域の意見・要望を把握し、改善に努めます。
- 2 事業終了後や利用者のアンケート、地域住民のヒアリングを実施します。
- 3 ご意見・要望・苦情は必ず職員全員で「お客様ノート」「ミーティング」で情報共有します。
- 4 「ご意見シート」に記録し、対応結果と経緯を、館内掲示・広報紙・HPで公開します

## 5 自主事業計画

地区センターの設置目的の「地域コミュニティの醸成」と「地域連帯の形成」の支援として自主事業を実施します。これまでのニーズの高い事業は継続し、さらに利用者ニーズを反映して拡充し、年代、目的、興味・関心が偏らず誰でも参加し、交流でき、新しく地区センターを利用するきっかけ作りとなる幅広いジャンルの事業を展開します。

令和2年度 中屋敷地区センター 自主事業計画

		講座名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)	
成人	学びの講座	健康体操①	一般	各 50,200	4~3月	40	266,000	
		健康体操②	一般	各 50,200	4~3月	40	266,000	
		音楽で脳トレ(午前、午後)	一般	各 15,360	4~3月	24	153,000	
		季節の寄せ植え	一般	各 15,60	4,7,10,12月	4	112,000	
		なかちく de クラシック♪	一般	各 20,400	4~3月	20	155,000	
		世界の名曲を歌う						
		三味線体操	一般	各 30	4~2月	11	116,000	
		日本文学史(前期、後期)	一般	各 15,150	5~7月 2~3月	10	90,000	
		歌声サロン(前期、後期) & ミニコンサート	一般	各 15,120	5~10月 11~2月	10	88,000	
		足と靴と健康の相談会	一般	各 20,40	7,1月	2	1,000	
		新講座(BOOK CAFÉ 他)	小学生以上	各 10,20	7,1月	2	24,030	
小計					163	1,271,030		

		講座名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
キッズチャレンジ講座		すきっぷす♪の親子リトミック(前期、後期)	未就園児と保護者	各 20,120	6月 10~11月	6	40,000
		すきっぷす♪のおはなし会	未就園児と保護者	各 20,220	5~3月	11	50,000
		こども料理教室	小学生	各 16,64	6,8,10,2月	4	68,000
		収穫体験	小学生	各 30,60	7,12月	2	52,000
		キラキラジェルソープ作り	小学生	15	8月	1	10,000
		プリザーブドフラワー	小学生	10	8月	1	11,000
		アロマワックスバー作り	小学生	15	8月	1	12,000
		すきっぷす♪の工作教室	小学生	10	8月	1	5,000
小計					27	248,000	

		講座名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
地域交流事業		ロビーコンサート	どなたでも		7,10,3月	3	ニーズ対応
		ケアプラザ共催・音の駅コンサート	どなたでも		8月	1	ニーズ対応
		中屋敷ソフトソーラン隊	どなたでも	10	11月	1	7,000
		なかやしきふれあい文化祭	どなたでも		11月	1	ニーズ対応
		ダンス&Music フェスタ	どなたでも		12月	1	ニーズ対応
小計					7	7,000	
総計					195	1,526,030	

**令和2年度 「中屋敷地区センター」 収支予算書兼決算書**  
(令和2年. 4. 1~令和3年. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	36,198,000		36,198,000		36,198,000	横浜市より
利用料金収入	3,100,000		3,100,000		3,100,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,270,000	0	1,270,000	0	1,270,000	
印刷代	90,000		90,000		90,000	
自動販売機手数料	900,000		900,000		900,000	
カラオケ使用料等	280,000		280,000		280,000	
その他(広告ラック収入・預金利息)			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>41,568,000</b>	<b>0</b>	<b>41,568,000</b>	<b>0</b>	<b>41,568,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>20,153,979</b>	<b>0</b>	<b>20,153,979</b>	<b>0</b>	<b>20,153,979</b>	
給与・賞金	17,673,979		17,673,979		17,673,979	常勤職員3名・時給職員11名
社会保険料	1,570,000		1,570,000		1,570,000	
通勤手当	740,000		740,000		740,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	170,000		170,000		170,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
<b>事務費</b>	<b>2,622,394</b>	<b>0</b>	<b>2,622,394</b>	<b>0</b>	<b>2,622,394</b>	
旅費	31,611		31,611		31,611	出張旅費
消耗品費	600,000		600,000		600,000	事務消耗品費
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	108,922		108,922		108,922	
通信費	491,466		491,466		491,466	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	214,617	0	214,617	0	214,617	
横浜市への支払分			0		0	目的外使用料等
その他(HP管理費)	214,617		214,617		214,617	ホームページ管理費
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	454,500		454,500		454,500	
施設賠償責任保険	15,000		15,000		15,000	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	14,400		14,400		14,400	
リース料	691,878		691,878		691,878	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	地域イベントの協力費等
<b>事業費</b>	<b>1,526,030</b>	<b>0</b>	<b>1,526,030</b>	<b>0</b>	<b>1,526,030</b>	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費			0		0	
自主事業費	1,526,030		1,526,030		1,526,030	イベントの実施
<b>管理費</b>	<b>12,454,264</b>	<b>0</b>	<b>12,454,264</b>	<b>0</b>	<b>12,454,264</b>	
光熱水費	6,662,468	0	6,662,468	0	6,662,468	
電気料金	3,733,153		3,733,153		3,733,153	
ガス料金	1,633,555		1,633,555		1,633,555	
水道料金	1,295,760		1,295,760		1,295,760	
清掃費	2,346,418		2,346,418		2,346,418	日常・定期清掃費・害虫駆除
修繕費	808,000		808,000		808,000	
機械警備費	350,592		350,592		350,592	
設備保全費	2,286,786	0	2,286,786	0	2,286,786	
空調衛生設備保守	1,059,520		1,059,520		1,059,520	冷暖房機及び空調機保守・給水ポンプ保守
消防設備保守	63,360		63,360		63,360	
電気設備保守	384,116		384,116		384,116	自家用電気工作物・中央監視装置保守・自動ドア保守・受水槽清
エレベーター保守	126,720		126,720		126,720	
植栽管理	401,280		401,280		401,280	
その他保全費	251,790		251,790		251,790	設備総合巡視保守・水質検査・簡易専用水道検査・調整池点検・ウォータークーラー保守・レンタルマット
共益費			0		0	
<b>公租公課</b>	<b>1,510,000</b>	<b>0</b>	<b>1,510,000</b>	<b>0</b>	<b>1,510,000</b>	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他(法人税等)	1,510,000		1,510,000		1,510,000	
<b>事務経費(計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>2,268,000</b>	<b>0</b>	<b>2,268,000</b>	<b>0</b>	<b>2,268,000</b>	
本部分	2,268,000		2,268,000		2,268,000	労務・経理等の本部事務経費
当施設分			0		0	
<b>二一ス対応費</b>	<b>1,033,333</b>	<b>0</b>	<b>1,033,333</b>	<b>0</b>	<b>1,033,333</b>	
<b>支出合計</b>	<b>41,568,000</b>	<b>0</b>	<b>41,568,000</b>	<b>0</b>	<b>41,568,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	0			0		
自主事業費支出	1,526,030			0		
自主事業収支	1,526,030			0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

## 令和2年度中屋敷地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>(1) 地域特性、地域ニーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯健康づくり活動（運動習慣、食育、介護予防等）及び高齢者向け健康づくり等の自主事業の開催</li> <li>・年間を通じた自主事業「健康体操」の継続実施</li> <li>・津軽三味線を伴奏に行う「三味線体操」を通年実施</li> <li>・靴と足と健康の相談会を複数回開催</li> <li>・地域コミュニティ醸成、地域連携に向けて               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 世代間交流としてどの年齢世代の方も参加できるイベントを開催します。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元出身の演奏家による四季折々の「ロビーコンサート」</li> </ul> </li> <li>② 地域交流として、連合町内会、地元農家と連携した事業を開催します。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農家の協力を得た「野菜の収穫体験」を継続実施</li> <li>・瀬谷養護学校主催交流イベントへ実行委員で参画</li> <li>・「にこてらす」との協力関係の維持推進</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>			
	<p><b>(2) 利用者ニーズの把握と運営への反映</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見・要望・苦情は必ず職員全員で「お客様ノート」「ミーティング」で情報共有し、速やかに対応・改善を図り施設運営に反映します。</li> <li>・「ご意見シート」に記録し、対応結果と経緯を、掲示・広報紙・HPで公開、区にも報告します。</li> <li>・毎月職員会議でロールプレイングを継続実施し、接客スキルの向上を図るとともに、「利用者ファースト」の考え方を更に徹底します。</li> </ul>			
	<p><b>(3) 利用者サービス向上の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新着図書の新着と居心地良い空間を維持します。</li> </ul>			

	・利用者満足度を高いレベルで維持します。			
業務運営	<b>事業計画書</b> <b>(1) 管理運営に必要な組織、人員体制</b> ・現従事者の継続雇用を図るよう最善を尽くすとともに、新規採用も可能な限り地域採用とします。			
	<b>(2) 緊急時の体制と対応計画</b> 日常から施設設備の故障、事故、犯罪等の未然防止に努めます。 ・故障、事故、犯罪の未然防止、発生時の対応についての研修、訓練を行います。 ・ケアプラザと合同の避難通報訓練を年2回実施します。			
	<b>(3) 設置理念を実現する運営内容</b> ① サークル活動のバックアップとしてサークルのポスター作りや、参加希望者の紹介等でサークル立ち上げ支援し、サークル数を増やします。 ② 自主事業受講者の事後グループ作りを支援します。			
	<b>(4) 利用促進策</b> ① 読みたくなる図書の新着充実 ② 予約利便性のPRによる新規登録団体の獲得 ③ 備品の補充 健康、音楽関係を重点的に、備品を拡充します。			
	<b>(5) 本市重要施策に対する取組</b> 市内企業の応援 管理運営業務に関連する業務の発注、備品・消耗品の購入は、市内の中小企業を優先します。			
	<b>(6) 自主事業計画</b> 新年度も幅広い分野で自主事業を積極的に展開していきます。 ・好評の「日本文学史」を継続開催 ・シニア層に人気の高い脳トレ講座を通年開催 ・「歌声サロン」は「ミニコンサート」も併せて開催 ・昨年度の「第九に挑戦」に続き、「世界の名曲を歌う」クラシ			

	<p>ック講座を通年開催。年度末にロビーコンサートで発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄せ植え講座、小学生向けの手づくり品や料理教室を季節や学校の休みに合わせて開催し、寛げる和室を利用した親子向け「おはなし会」を5月以降毎月開催</li> <li>・ケアプラザ共催「音の駅コンサート」を今年度も計画</li> </ul>			
	<p>(7) 施設の維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の特性に応じて、作業内容・作業頻度を検討し、年間計画を立てて実施します。</li> <li>・毎年、施設管理者点検を実施し、市と協議して建築物の保全措置を講じます。</li> <li>・休館日に定期清掃を行う等、利用者に不便が生じないように配慮します。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数/120,000人[令和元年度比 +15,000人]</li> <li>・稼働率/48.0%[令和元年度実績を維持]</li> <li>・新規団体登録数/55団体[令和元年度実績を維持]</li> </ul>			
職員育成	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理者講習資格取得者2名体制を維持</li> <li>・普通救命講習資格取得率100%</li> <li>・クレーム件数3件以内</li> </ul>			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(7) ア 収入計画の考え方</p> <p>イ 増収策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズを的確に把握し、活動に必要な備品等の充実を図って利用率の向上につなげ、収入増をはかる。</li> </ul> <p>ウ 支出計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月収支管理を行い、予算内執行の遵守に努める。</li> <li>・横浜市「地区センター省エネ運用マニュアル」に準拠したチェックリストによる管理を徹底し、電力費の節減を図る。</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書に掲げた取組を実現し利用者の声を運営に反映し、利用料収入増に繋げていく。 利用料収入/310万円</li> <li>・自主事業は、今後も創意工夫で経費を縮減するとともに、事業ごとの適正な受講料の設定を試みるとともに、利用者サービスの向上や新たな利用者の増加につながる投資的費用は増額するなど、メリハリのある運営に努めていく。 自主事業収入/100万円</li> <li>・雑入（印刷代、自販機手数料、カラオケ）/127万円</li> </ul>		
利用者等の意見			

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載